

対話でつなぐ授業 ～自己肯定感を求めて～

岩瀬 竜弥



指導員訪問① 6年 英語科 Unit 4 「Summer Vacation in the World」 伊藤 実穂 教諭



4月より小学校で教科としての外国語の導入が開始。外国語活動との内容の違いに着目すると、「自分なりの考えをもって気持ちを表現する工夫をする」とあります。本時では、特に友達の話をよく聞き、ジェスチャーや既習表現を使って、夏の思い出に関して質問したり自分の考えや気持ちを伝えたりする姿があったかどうかです。

伊藤教諭は、小6の担任との出会いが教職への道を切り開くきっかけとなりました。学級の日当て決め、キャラクターマスコットの制作など、常に自分たちの考えを大切にして、一緒になって取り組む教師の姿。誰かのことを思い、誰かのために動く姿は、現在の伊藤教諭の原点です。

さて、本時では、ALTとのデモンストレーションを見せ、夏の思い出を伝えるために過去形を用いた3つのセンテンスの練習を。そして、ビンゴゲームを利用した友達との対話へ。5分後にペアaとbを指名し、右のC12bを引き出しました。するとC13aによって笑顔に包まれる伊藤学級

の子供たち。自分は好きな牛肉がまさか…。
その場の発話によって考え、気持ちを表現した瞬間です。そのよさにも子供たちは触れることができました。指導員から「Me, too」



「Really」を取り入れることにより、共感や、同じ体験でも感じ方の違いに、より知りたい、対話したいという思いが引き出せることを学びました。

英語の勉強が好きと70%の6年生が答えます。自分自身の考えや気持ちを伝え合うことで、さらに英語も相手のことも大好きに。



- C1a : How was your summer vacation?
- C2b : I enjoyed BBQ
—<略>—
- C5a : What did you eat?
- C6b : I ate beef & pork.
How was your summer vacation?
- C7a : I enjoyed BBQ
- C8b : Where did you go?
- C9a : I went to the department store.
- C10b : What did you eat?
- C11a : I ate beef.
- C12b : Do you like beef?
- C13a : う〜ん、まあ、普通。so-so.
Do you like beef?
- C13b : Yes, I do
—<略>—
- T17 : ●よかったところある？【立ち止まり】
- C18 : 声が大きくて聞こえやすかった。
- C19 : アイコンタクト
- C20 : リアクション（自分で動きを見せて）
- C21 : プラスの質問をしていたところ。
- T22 : ちなみにどんな質問していた？
- C23 : Do you like ○○？（授業記録より）